

## 日本の支援で金融犯罪に対する能力を強化

令和6年8月6日

7月29日、ナイジェリア連邦共和国の首都アブジャにおいて、松永一義駐ナイジェリア連邦共和国日本国特命全権大使は、「金融犯罪対処能力」(実施期間:2024年1月~2026年6月)に関連し、第1回国際刑事警察機構(INTERPOL、インターポール)/国際協力機構(JICA)研修会”Strengthening Capacity and Coordination against Financial Crime”の開始式に出席しました。

この研修会は国際金融犯罪対策に関する協力案件としてINTERPOL 金融犯罪・汚職防止センター(IFCACC)と JICA が連携するパイロット事業です。ナイジェリア国内の治安機関や法執行機関等の職員を対象として、ナイジェリア金融情報局(NFIU)が研修を実施しています。

インターポールと JICA は、ロマンス詐欺への対処が課題となっているナイジェリアにおいて、捜査力向上を目的に本研修会を共同で企画しました。約40人の参加者がナイジェリアの10の法執行機関から選抜され、4日間のワークショップに参加しました。インターポールと日本の警察庁の担当者は、詐欺グループが被害者を騙すために悪用する暗号通貨に関連する犯罪を捜査するための方法について説明しました。

ワークショップの中で一際注目を集めたのは、高齢の男性が SNS 上で繋がった女性から偽のプラットフォームで暗号資産への投資を持ちかけられ、高額をだまし取られたと想定して行われた「捜査の机上訓練」です。ナイジェリアの捜査員は、「汚職や金融犯罪と闘う上で、この研修内容は実用的である。」とコメントしています。

インターポール関係者は、「参加者がワークショップで得た知見を国際的な犯罪に対処するべく活用し、ひいては世界の安全に貢献することを願う。」と述べています。

関連報道

NHK: <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240804/k10014536791000.html>

